

手順書:ろう孔管理関連

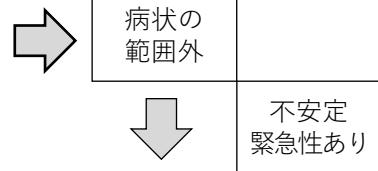
15. 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(在宅-1)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(ろう孔の破たんの有無、接着部や周囲の皮膚の状態、発熱の有無等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換を行う

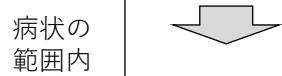
【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

内部ストッパーがバルーンタイプである。前回の交換時にトラブルがなく、2回目以降の交換である。定期交換の時期である。



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

バイタルサインが安定している
意識レベル、病状が平常時と変化がない
瘻孔からの出血がない、出血傾向がない
胃ろう周囲の皮膚トラブルがない
交換前のカテーテルの可動性が良好である



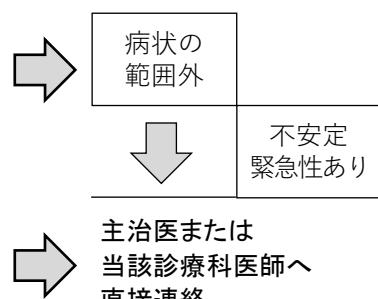
【診療の補助の内容】

胃ろうカテーテル(バルーン型)または胃ろうボタン(バルーン型)の交換



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

意識、バイタルサインの問題がない
交換後の腹痛、出血がない、あっても持続的なものではない
交換後のカテーテルの可動性が良好である
胃内容物の逆流が確認できる
*追加事項



【医療の安全を確保するために医師又は歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

主治医、当該診療科医師、または医療安全担当医師へ連絡する
連絡先



【特定行為を行った後の医師又は歯科医師に対する報告の方法】

- 担当医師へその日のうちに連絡(FAX)
- 毎月の報告書への記載

年 月 日 医師氏名